

佳作

## 「聞く」が大切だから

山形県 山形市立滝山小学校六年 棚井 杏美

私には恩師がいます。それは、一年生の時の担任のY先生です。きっと、Y先生がいなければ、今の私はいなかったと思います。

一年生の時の私は、学校に強く反抗心をもって、授業を真面目に受けなかったり、騒動をおこしてしまふこともありました。保育園に通ってる時から、私は姉に小学校の話聞いていました。姉は、「先生がすぐおこる。」

「めっちゃおこってくる。」  
という話を多くしていました。その話をきいて私は、子どもながらに「先生はおこるだけで良い人じゃないんだ」と思っていました。

入学して二カ月くらいたったころ、男の子とケンカをしてハサミをなげる、という騒動を起こしてしまいました。となりの部屋に行きかけつけたきょうどう先生に、ひどくおこられました。Y先生と二人

になった時、Y先生が何か言葉を発しようとした。

「どうせY先生もおこってせめるんだ」。私はそう思った。でも、

「何か言われたの？」

そう、やさしく声をかけてくれた。もしこの時、

と、おこられていたらY先生をきらいになってしまったかもしれない。この一言に、私はすぐわれました。

その後、先生とルールを決めてそれがまもれたらシールをはるといふふりかえりをほうかご毎日いっしょにしてくれました。

「今日はたくさんできたね。」

と声をかけてくれたり、あまりできなかった日も、

「明日はこれ、がんばってみよう。」

と声をかけてくれました。その一言一言にすぐわれていました。

一年生の時にY先生に出会えて本当に良かったと今も思っています。

私は今、スクールカウンセラーになる、という夢にむかってがんばっています。Y先生におそわったことも、たくさん役立っています。学校には、本音が言えない人も、本音が分からない人もいます。そ

んな時、私がしてもらったようにせめたりおこったりするのはなく、相手の話をちゃんと「聞きたいい」です。

自分にしかない、けいけんをいかして、一人一人の「心」を大事にしていきたいです。「聞く」ですくわれる人がいるはずだから。